



学校だより

領巾振
いれふり

ともに学び 心がふれあう学校

か 感謝の気持ちあふれる学校
が 頑張る姿勢に満ちた学校
み みんなで力を合わせる学校

R4.11. 2. 第13号 鏡中学校 校長室

学校文化の花開く『新時代～ウタでつながろう』 校長の講評

まだまだ新型コロナの影響がありますが、世の中少しずつ従前に近い形の活動が戻りつつあります。テーマ「新時代」ウタでつながろうの通り、3年ぶりに対面での合唱コンクールを実施しました。全校生徒の数と体育館のキャパの関係で、学年ごとに時間を区切り保護者を迎え入れての開催としました。

合唱コンクールは各クラスの生の歌声、コーラスを聞くことができました。2年前は映像での発表でした。やはり直接生で聞く歌声は感動の度合いが違いました。マスクをつけての合唱でしたが、きれいなハーモニーを聞けて良かったです。練習の時から校舎に歌声が響いていました。この時期そんな風景がまた戻ってきたことをうれしく思います。さてコンクールですからどうしても採点をしなければなりません。比較すればどうしても違いが出てきます。わずかの差が結果につながったものと考えますが、すばらしいハーモニーを作り上げることを目指して心をつなげて合唱を作り上げていった過程こそ評価すべきものであると考えます。

1年生、初めての合唱コンクールでしたが、レベルが高かったです。また2年生はそれを上回る出来でした。3年生が1・2年生の合唱を聞いていたならばものすごいプレッシャーがかかっただろうなと思いました。3年生もさすがでした。男女の音量の差をカバーしようとする工夫も見られました。発表態度、観賞態度についても立派なものでした。

動画発表については、各学年の事前学習や準備の過程がよくわかりました。素晴らしい発表の裏には地道で着実な学習の積み重ねがあったということです。特に3年生の特攻、戦争と水俣病についての動画は学術的価値も高く、後々の南九州修学旅行の事前学習にも使える貴重な資料になりそうです。またSDGsを考える資料にもなりそうです。

吹奏楽部の演奏はそれこそ毎日の努力の積み重ねの披露でした。楽器を演奏できるということだけでもうらやましい限りですが、それぞれのパートを重ね合わせる技術はまさに団体競技でした。これから音楽を通して豊かな人生を送ってもらいたいと切に思いました。

また、展示作品も印象に残るものとなりました。1・3年生の巨大モザイクアートは短い準備時間の中でよくぞ完成にこぎつけました。塗っている時には想像もできなかったシートがつなぎ合わせることで、見事な作品になりました。体育館に吊り下げた時には「オ～！」という歓声が上がりました。みんなで力を合わせることは素晴らしいことですね。1年生の地域調べ、2年生の職場体験とSDGsの新聞、3年生の修学旅行についての新聞、事前学習の成果が十分に表れていました。図書部、A組、国語科、家庭科、美術科、美術部の作品も見ごたえがありました。改めて本校の学校文化の質の高さを実感したところでした。

今年度も皆さんは体育面や文化面、あらゆる場面で持てる力を十分に発揮してくれました。ことあるごとに深い絆を感じることもできました。本校の学校教育目標「ともに学び心がふれあう学校」の具現化が図られていることを実感しています。校長としての最後の文化発表会に多くの感動をもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。1年生が作成してくれた私のモザイクアートを事務室前に展示してもらっています。多分何をつくっているか知る由もなく作成してくれたものだと思いますが、一生の記念とします。ありがとうございました。

保護者の来場も200名を超えました。生徒の皆さん、先生方本当に素晴らしい文化発表会を作り上げていただき感謝の気持ちでいっぱいです。ご苦労様でした。

地域の伝統文化「唐津くんち」節度を守り楽しみましょう！

今大変気になっているのは友達の家での外泊です。学校管理外の問題ですが、保護者の管理も行き届かなくなります。外泊は絶対にさせないでください。

